

①チャンピオン施工ビデオで発見！ 施工時間短縮につながる「移動式ワゴン」の使い方

●移動式ワゴンは自分のすぐ近くに置き、立ち位置を変えない

スポンジを絞る時など、ムダに振り返ったりすることがありがちです。チャンピオンの施工を見ると、スポンジの塗り広げ～ダイヤクロスの拭き取りまで、1歩も動きません。移動式ワゴンの位置を工夫してみると、ムダな動きがなくなり、はやくなります。



●スポンジ&クロスを、右手で取り、右手で置く

チャンピオン施工ビデオを見ると、ガラス塗りをしたスポンジを置いてから、クロスを取るまでの時間がものすごくはやいです。「なぜ2枚のクロスを手で持たないのだろう？」と気になり、やり比べました。答えは、「片手で取った方が、クロスがぐちゃぐちゃにならない」。今までは、両手に持ったクロスの持ち替えでぐちゃぐちゃになっていました。1台まるごとだと、相当な時間短縮になります。

●4つ折りダイヤクロスの角を、台からちょっとはみ出して置く

クロスがぐちゃぐちゃになる理由のもう一つは、クロスの角がバラバラになることです。4枚揃えた角を台からちょっとはみ出して置くと、クロスを取るときに、取りやすく、バラバラになりません。



2018年
チャンピオン施工ビデオ
(浅野選手)



2017年
チャンピオンビデオ
(安藤選手)



●ケミカルは、左手に、持ちっぱなし

施工をすべて右手でする分、ケミカルは左手です。両手にクロスを持つことがなくなったため、ケミカルを移動式ワゴンに一旦置く必要もありません。持ちっぱなしならば、ケミカルの吹き出し口を探る必要もありません。無駄な動きがなくなり、どんどん施工が進みます。



**キーパープロショップ
Webサイトトップページに
チャンピオン施工ビデオの
バナーを貼りました**

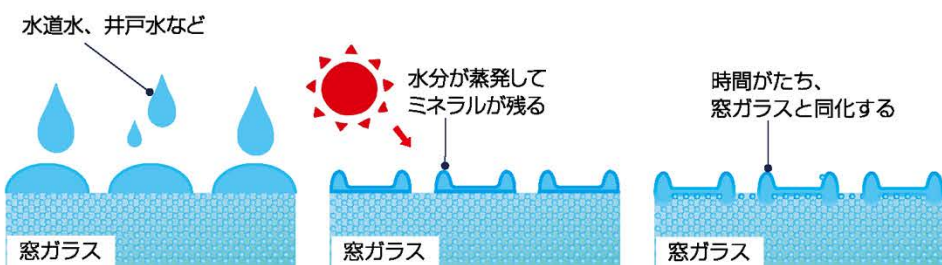
広く一般の方にも多く閲覧できるよう、トップページからすぐにチャンピオンビデオを見ることができるようになりました。

②窓ガラスに同化した“ウロコ”取りはできません

●窓ガラスのウロコ汚れの原因は？

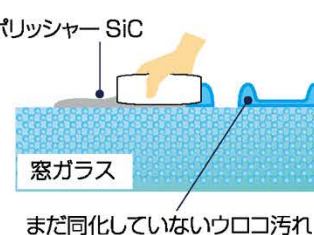
水道水や井戸水、今では黄砂を含んだ雨などに溶け込んでいるミネラル(無機質)が窓ガラス表面に付いてウロコ状の汚れになります。

窓ガラス表面も同じ無機質のため、時間が経つと、ウロコ状の汚れが窓ガラスと同化して全く落ちなくなります。



●窓ガラスに同化する前なら、油膜取りで落ちる

同化する前なら、ガラスポリッシャー SiC を使った油膜除去作業で、油膜汚れと一緒に落ちます。



●窓ガラスと同化したら、もう落とせない

時間が経って、窓ガラスと同化してしまうともう落とせません。無理に削り落としたり、溶かそうとするとガラスが傷んだり、変質してしまい、大きな賠償となります。お客様には落とせない理由をお伝えし、絶対にやらないようにしましょう。